

平成 24 年度

## 事 業 報 告 書

社会福祉法人  
猪名川町社会福祉協議会

## 目 次

◎平成 24 年度事業報告(総括)	・・・ P 1
◎諸会議	・・・ P 2 ~P 3
1. 第 5 次地域福祉推進計画	・・・ P 4 ~P 5
2. 地域福祉活動	・・・ P 5 ~P 8
3. ボランティアセンター活動	・・・ P 8 ~P 1 2
4. 生活支援サービス活動	・・・ P 1 2
5. 児童・家庭福祉活動	・・・ P 1 3
6. 障がい者(児)福祉活動	・・・ P 1 3 ~P 1 9
7. 高齢者福祉活動	・・・ P 1 9 ~P 2 4
8. 福祉教育活動	・・・ P 2 5 ~P 2 6
9. 広報・啓発活動	・・・ P 2 6
10. 自主財源活動	・・・ P 2 7 ~P 2 9
11. 団体事務局の運営	・・・ P 2 9
12. 総合福祉センター管理受託事業	・・・ P 2 9 ~P 3 1
◎役員の状況	・・・ P 3 2

## 平成 24 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告(総括)

本年度は、地域福祉を推進する団体として、今後の地域福祉の方向性を示す「第5次地域福祉推進計画（平成24年4月～27年3月）」の初年度となり、特に情報の発信と広報活動、地域との連携・協働、福祉活動の担い手の育成に取組みました。その評価として住民の立場や専門的な視点から地域福祉推進計画評価委員会を開催し各事業の取組み評価を受け、次年度からの計画推進をより一層進めいくこととしたとしております。計画目標の「みんなでつくる安心して暮らせるまちづくり」をめざし、行政との定期的な意見情報交換の機会も持ちながら、住民主体による地域福祉活動の充実に取り組んでいきます。

地域福祉活動では、ボランティア活動センターを中心とした各種講座の開催、地域のボランティアニーズとのマッチング、啓発活動や町内小中学校と連携した福祉教育活動の推進に努めました。また、今後は全県キャンペーン「ストップ・ザ・無縁社会」の取組みとして生活福祉資金貸付事業や地域の困りごとの早期発見のための福祉委員活動による地域福祉コミュニティの推進に努めています。

高齢者福祉事業では、地域包括支援センター等の町からの受託事業を実施し、権利擁護、介護予防事業を展開しました。また、介護保険事業では安定した経営に取り組み、地域に開かれた介護事業所を目指し、第5次地域福祉推進計画の目標である在宅生活支援を利用者本位のサービス、サービスの質の向上に努めサービス提供を行いました。

障害者福祉事業では、地域で生活する精神障がい者の方への「ふれあいサロン事業」を運営してまいりましたが、町と協議を重ね、新たに精神障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、町より地域活動支援センターを受託し、開設いたしました。

また、地域における障害者福祉に関わる人材育成・発掘を目的として、3年間かけて取組む障害者交流啓発“イナワイ”をはじめ、障がい者ふれあい運動会やふれあいバスツアー等を通して各種団体との連携など、地域福祉の参画を促す土壤づくりに取り組みました。

社協を支える職員については、外部講師を積極的に迎え入れ職場内研修の定例化とともに、県社協等の実施する各種専門研修や外部研修にも参加し、個々の専門性と資質の向上に努めました。

法人全体の事業収支では、収入総額418,085千円（対前年度比率95.7%）、支出総額418,945千円（対前年度比率95.7%）となり、差引額は△860千円（前年度 △632千円）の赤字となりました。このうち経常収入は414,721千円、経常支出は415,908千円となり、経常収支差引額（経常損失）は△1,187千円、経常収支比率は99.7%となりました。

以下、ここに平成24年度における本会の諸活動について報告いたします。

## 諸 会 議

### ◎理事会開催状況

(理事定数 11 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 4. 26	理事会 (1回)	総合福祉センター	(議案第1号) 評議員の選任について
24. 5. 24	理事会 (2回)	総合福祉センター	(議案第2号) 評議員の選任について (議案第3号) 平成23年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業報告について (議案第4号) 平成23年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出決算について
24. 6. 11	理事会 (3回)	総合福祉センター	(議案第5号) 会長・副会長の選任について
24. 9. 18	理事会 (4回)	総合福祉センター	議案なし 協議・報告のみ
25. 1. 29	理事会 (5回)	総合福祉センター	(議案第6号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程（生活介護、就労移行支援、就労継続支援B型）の一部改正について (議案第7号) 猪名川町社会福祉協議会ゆうあいグループホーム入退所審査会要綱の一部改正について (議案第8号) 平成24年度猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
25. 3. 21	理事会 (6回)	総合福祉センター	(議案第9号) 障害者自立支援法の一部改正に伴う関係規程の整理に関する規程の制定について (議案第10号) 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について (議案第11号) 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について (議案第12号) 平成25年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎監事会開催状況

(監事定数 2名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 5. 22	監査	総合福祉センター	平成 23 年度収入支出決算監査

◎評議員会開催状況

(評議員定数 23 名)

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 5. 30	評議員会 (1回)	総合福祉センター	(議案第1号) 理事及び監事の選任について (議案第2号) 平成 23 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について (議案第3号) 平成 23 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
25. 2. 5	評議員会 (2回)	総合福祉センター	(議案第4号) 平成 24 年度猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
25. 3. 27	評議員会 (3回)	総合福祉センター	(議案第5号) 理事の選任について (議案第6号) 平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について (議案第7号) 平成 25 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容
24. 9. 18	委員会	総合福祉センター	(議案第1号) 平成 23 年度一般会計及び特別会計決算について (議案第2号) 平成 24 年度共同募金運動の実施計画について (議案第3号) 平成 24 年度一般会計及び特別会計予算について

## 1. 第5次 地域福祉推進計画

住み慣れた地域で安心して暮らすためには、様々な生活課題（日常生活での困りごと）の解決について人ととの「つながり」や「支え合い」の共助、住民主体とした福祉力が求められます。

この共助の仕組み作りを行う上で重要な役割を果たすのが「地域福祉推進計画」と考え、四つの重点活動項目（社協づくり・情報の発信と受信・きっかけづくり・人の輪づくり）をかかげ取り組んできました。これらの活動項目は社会福祉協議が本来果たすべく役割として住民の福祉理解や福祉活動への参加、福祉委員や民生委員児童委員、ボランティア等の地域関係機関、行政と連携し地域福祉を推進していくものです。この計画は平成24年4月から平成27年3月までの3ヶ年とし、本年度は計画の初年度となり、今後も住民とともに地域福祉の発展に積極的に取り組むためにも地域福祉推進計画評価委員会での評価を受けながら取り組んでいきます。

### 1) 社協づくり

住民の社協理解・協力を促進するため、社協の目的及び会費の使途についてリーフレットの見直しや社協だよりにて、福祉委員会やボランティア活動センター等の地域福祉活動の中心となる事業の概要について周知を図り、“社協施策”の見える化を進めました。

また、災害時における救援マニュアルを作成するための職員ワーキングチームを起ち上げ、県社協の地域支え合い体制づくり事業からの助成金で要援護者管理システムを導入し、非常時への体制づくり及び、職員の災害に対する意識を高めることに取り組みました。

これら職員の技術知識の向上及び組織の発展を目的として、業務上の専門性に特化せず、外部から講師を招いての研修（ライフワークバランス・ゲートキーパー）や内部研修（苦情対応）を3回実施しました。外部研修への参加や近隣の事業所間との情報交換や見学、合同研修にも取組みました。

### 2) 情報の発信と受信

住民参加の講座開催後の意見交換やアンケートにより地域のニーズや困りごとについて情報交換を行うことで、講座受講ニーズを把握し対象者を想定し内容を検討することで、その講座を必要としている方に情報を効果的に広報することで、参加しやすい開催方法について見直しを図りました。

取組みとして、ふれあい伝言板や関係機関、コンビニエンスストア等とも連携し、啓発用のチラシ配布やポスターを掲示することで、サービスの新規申込みや老人クラブや福祉委員会の講座開催実績も増えました。

各地域における直近の状況について意見交換を行うことにより、地域で困りごとを抱える高齢者やその家族と関わる福祉委員からの相談も増加傾向にあります。

### 3) 人の輪づくり

町福祉課と定期的な情報交換の中で、地域の実情に沿った今後の事業運営等について協議する機会を設け、事業の進捗状況や町の福祉施策との摺合せを行いました。

独居・認知症高齢者の民間事業者との工事契約や物品受注・契約に関するトラブルの発生に対し、地域包括支援センターや消費者相談窓口と連携して問題解決にむけて支援を行いました。

また、年々、増加傾向にある虐待ケースや困難事例ケースの支援、社会的孤立状態にある方や制度の狭間で問題を抱えている方に対しても行政と協働で適切な支援に繋げました。

ボランティア活動センターでは、受講後もコーディネーターが途切れないと関係づくりに努め

相互の情報交換を行うことで、コーディネート数が増加傾向にあります。ゆうあい福祉の集いでは、台風による悪天候のために中止となりましたが、開催にむけて災害ボランティアバス参加者やサマーボランティアスクール参加者、各種団体、各小学校区まちづくり協議会の方々の参加を促し、啓発における取り組みを進めることで、交流を持つ機会も少しずつ増え、支援の輪を広げることに努めました。

#### 4) きっかけづくり

外部講師のコーディネートや啓発におけるNPO団体との協働で、効率性・効果性を確保しながら住民参加の促進に取り組み、地域における人材の発掘と育成について、一定の成果を得ることができました。

福祉学習では、各小中学校の特色を活かした内容を紹介することで、新たな福祉学習のテーマに取組まれる学校が見られ一定の拡がりがありました。

また、事務局内での地域福祉活動への体制見直しを図り、事業所（介護保険事業や自立支援法事業等）職員が社協の事業と連携することで、地域の様々なニーズに対応できる幅が広がりました。

#### 5) 地域福祉推進計画評価委員会

本年度より策定した地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

各種事業の進捗状況の報告を行うと共に次年度以降の事業の取組み評価方法について各種委員の方よりご意見をいただきました。

開催日：平成25年2月26日（火）



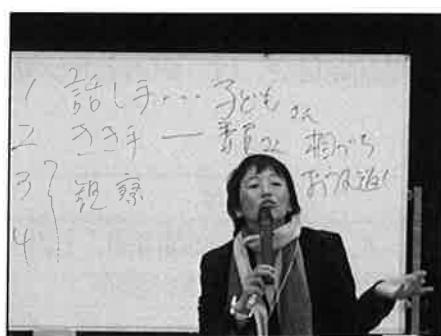
地域福祉推進計画評価委員会の様子

## 2. 地域福祉活動

### 1) 福祉委員活動

福祉委員制度は、自分たちが住んでいる地域の福祉課題に目をむけながら住民参加の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、今年度もその活動の一層の推進に努めました。

① 福祉委員会全体会議の開催（2回：5月26日・12月8日）



福祉委員全体会の講演風景



研修会でのグループ討議風景

- ② 役員会開催（5回：5月12日・7月7日・9月8日・12月1日・2月9日）
- ③ 昨年度に引き続き、校区福祉委員活動としてキャラバンメイトの協力を得て、認知症センター養成講座（グループワーク形式）を実施しました。認知症への理解者を増やすと共に、日頃から地域のつながりの大切さを啓発するための地域福祉の取り組みの一環として、今後も継続していきます。



認知症高齢者見守りのグループ討議風景



認知症高齢者理解の寸劇

7月 1日	つつじが丘小学校区福祉委員会主催	33名
7月 14日	内馬場・伏見台地区福祉委員会主催	25名
2月 1日	楊津・大島小学校区福祉委員会共催	30名
3月 30日	猪名川小学校区福祉委員会主催	4名

- ④ 継続的取り組みとして福祉委員会主催で、福祉用具展示会を開催しました。  
開催日：平成24年11月11日(日)  
場 所：猪名川町文化体育館（小ホール）  
内 容：福祉用具展示、ミニ講座、介護保険等の相談コーナー、アンケート実施



福祉用具展示会 会場風景



実際に用具を体験・ミニ講座風景

- ⑤ 小地域福祉組織化活動  
福祉委員は、それぞれ地域の特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。阿古谷小学校が平成25年3月末で廃校となりましたが、次年度から「阿古谷小学校区福祉委員会」は「阿古谷地区福祉委員会」として当面の活動を続けます。

#### ◆主な活動内容

地区・小校区名	活動内容
内馬場・伏見台地区	映画会（子ども向け・大人向け）、公園清掃、民生委員と共に地区高齢者花見、認知症センター養成講座
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、民生委員と交流会、まち協福祉専門部会に参加

地区・小校区名	活動内容
阿古谷小校区	クリーンアップ作戦参加、夏祭り、草刈・植木手入奉仕、地域合同運動会、食育講演会、出前講座、うどん教室、歌声サロン（年6回）、声掛け運動、小学校下校安全見守り、ふれあい広場にテーブル設置
猪名川小校区	若葉いこいの家の運営ボランティア、認知症サポーター養成講座、子育てホットスペース、健康教室、むつみ会の運営サポート、秋祭り世代交流、高齢者栄養管理講座、等
つつじが丘小校区	古切手等の収集と寄贈、あそびのひろば（年10回、まち協の支援）、民生委員との懇談会、認知症サポーター養成講座、夏祭りでの模擬店、いこいの会（年12回、猪名川台）、カフェサンテの開催（年9回、差組）
白金小校区	善意の傘の補充・メンテ、ふれあいサロン（絵手紙、）、ふれあいバスツアー、健康福祉講座（まち協と共に）、福祉ふれあい講座
楊津小校区	福祉ふれあいグラウンドゴルフ大会 夏まつり参加 勉強会 まち協と共に防災訓練 認知症サポーター養成講座（大島校区との共催）
大島小校区	パンフレット配布（社協が行う高齢者福祉サービスについて）、出前講座（脳トレ、口腔ケア）、介護技術講習会、自治会住民全戸訪問、独居老人との対話、認知症サポーター養成講座（楊津小校区との共催）

- ⑥ 行事・イベント等への参加  
障がい者ふれあい運動会、各種募金活動など
- ⑦ 社協会員会費、共同募金運動への参加協力

## 2) ふれあい弁当配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯を対象に、食生活の充実と安否の確認を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度も、調理ボランティア、運転ボランティア及び福祉委員の協力により、1,918食／49日（平成23年度 1,881食／48日）を配食しました。また、毎月1回「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部／年」を発行しました。

### ◆ふれあい弁当月別配食実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24年度	170	222	179	166	157	146	175	146	147	147	150	113	1,918
1回あたりの平均配食数	42	44	44	41	39	36	35	36	36	36	37	37	39
23年度	147	109	186	153	170	168	155	158	116	159	200	160	1,881
1回あたりの平均配食数	37	36	37	38	43	42	39	40	39	40	40	40	39

### 3) 相談活動

#### ① 生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々などに低金利で資金を貸付ける事業で、世帯の経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付制度です。

本年度の相談は 15 件で、そのうち 7 件が総合支援資金、8 件が生活福祉資金でした。申請に至ったケースは 3 件となり、1 件（教育支援資金）は承認、2 件は生活設計の甘さが原因で不承認となりました。

総合支援資金の相談は、平成 22 年・23 年頃と違って、7 件のうち 4 件は精神疾患を持つ方が繰り返し相談されたもので、話し相手を探している感じを強く受けました。相談者がインターネットを見て相談に来られるケースも増えました。相談に来られた方に資金の貸し付けだけでなく、生活支援の相談にのるなど、別の機関へつなぐことを心がけました。

#### ② 心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、社会福祉会館、木津総合会館及び日生公民館において、原則毎週火曜日の午前 10 時から 12 時まで民生委員児童委員が輪番で相談を受けています。本年度の相談件数は 1 件（障がい者の生活について）でした。昨年度は 5 件でした。

### 4) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障がい者・知的障がい者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（福祉サービスの情報提供・サービスの利用手続きの援助、サービス利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成 12 年度より実施しています。

本年度は 24 件の相談がありましたが利用は 0 件となりました。今後も真にサービスが必要な方に支援できるよう啓発等を行いました。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成 25 年 1 月 1 日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談

## 3. ボランティアセンター活動

### 1) ボランティアセンターの活動

- ① 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い取扱い件数は 117 件、加入者数は 1,331 名。（平成 23 年度 112 件・1,313 名）その内、東日本大震災に伴う【災害特例】の取扱い件数は 2 件、加入者数は 37 名でした。
- ② ボランティアグループ連絡会では、8 グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを行なっています。本年度 3 回（昨年度 3 回）開催しました。

③ 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設けており、5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で結成されています。本年度は1回(平成23年度1回)開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。



#### ◆ボランティアに関する相談受付処理状況

	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	NPO法人設立に関する相談	その他	合計
一般住民	32	1	2	1	0	0	13	0	2	51
ボランティア・市民活動団体	5	2	5	21	12	6	63	0	0	114
施設(福祉事業者)・病院	2	7	7	0	0	0	0	0	0	16
行政機関	0	13	1	2	0	0	13	0	0	29
社協	1	4	1	0	1	0	0	0	0	7
福祉団体	0	1	0	1	0	0	3	0	1	6
学校・教育機関	0	1	17	5	1	0	1	0	0	25
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	40	29	33	30	14	6	94	0	3	249

## 2) ボランティア講座・研修会の開催

本年度は、「第5次地域福祉推進計画 ふれあい活動プラン」に基づき、住民が参加しやすい講座開催を目指しました。ボランティアのいろはを学ぶ「ボランティアきっかけ講座」の開催をはじめ講座開催日時の設定を工夫、一回でも受講可能とし、町内事業所へ講座開催ポスターやチラシ配布などのPR活動も行いました。

### ① 点訳ボランティア入門講座

開催日：平成24年7月11日(水)～12月26日(水)

第2・4水曜 計11回

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：視覚障がい者への情報支援の充実と社会参加を促進することを目的に、点字の基礎知識や語句・文章の書き表し方(分かち書き)などを学び実際に点字板を使用し点訳技術を学習しました。



点訳ボランティア講座の様子



講 師：財団法人 兵庫県視覚障害者福祉協会

中山 敬 氏

参加者：11名（内6名の方が修了）

② サマーボランティアスクール

中・高校生、大学生等を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

PR活動を工夫することで昨年に比べ多くの受講者がありました。

開催日：平成24年7月21日(土)～8月31日(金)

延べ日数：30日

場 所：総合福祉センター

内 容：あそびのひろば・介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障がい者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループ協力のもと音訳点訳・手話・要約筆記の体験などの活動の場を設け、受講者自身が複数の活動を希望されるなどボランティア活動に触れる機会となりました。



あそびのひろば体験の様子

参加者：23名 延べ：45名（昨年度 6名、延べ：9名）

③ 難聴者支援のボランティア体験講座

要約筆記ボランティアのきっかけ作り、聴覚障がい者福祉への理解を深めることを目的に、要約筆記ボランティアグループ「ゆきんこ」主催、社協は共催で行いました。

開催日：平成24年11月8日(木)・15日(木)・22日(木) ※一回のみの参加可

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第1回 字幕付きDVD制作

第2回 ノートテイク(書いて伝える)

第3回 パソコン要約筆記字幕制作体験講座

参加者：6名 延べ：14名

④ 傾聴ボランティア入門講座

地域とのつながりが希薄になりがちな高齢者や障がい者、子育て中の方などのさまざまな想いや悩みに耳を傾けるボランティアが求められています。「聴く」ことを学ぶことで活動に結びつけることを目的に実施しました。

開催日：平成24年10月16日(火)・23日(火)・30日(火)

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第1回 コミュニケーションの基本

第2回 傾聴を学ぶ

第3回 グループでのコミュニケーションの実践



傾聴ボランティア講座の様子

講 師：心理スペース「ばればれ」主宰 稲松 由佳 氏

参加者：30名

⑤ ボランティアきっかけ講座

ボランティアに興味関心はあるが活動に踏み切れない方や活動を希望される方を対象に、ボランティアの基礎知識を学び、当事者の方からの話や体験を通じて、「はじめの一歩」を踏み出すきっかけとなることを目的に実施(2回コース)しました。開催日の

設定を工夫することで多くの方が参加できる機会を確保しました。

開催日：平成 25 年 2 月 9 日(土)・16(土)

場 所：総合福祉センター 研修室・ゆうあいドーム

内 容：第1回「ボランティアってどうすればいいの？」

～ボランティアのいろは～

講 師：社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

西浦 耕太 氏

第2回 「パラリンピックメダリストの話をきいてみよう！」

～ブラインドサッカー(視覚障がい者サッカー)のミニ体験～

講 師：パラリンピックメダリスト 斎藤 晃司 氏

参加者：12名 延べ：16名

#### ⑥ 災害ボランティア養成講座

災害ボランティアとして必要な基礎知識を学び、猪名川町や各地で災害が発生した際に活動できる災害ボランティアの育成を目的に開催（2回コース）しました。

開催日：平成 25 年 3 月 16 日(土)・23 日(土)

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：第1回「災害についての基礎知識」

第2回「災害ボランティアの役割・心構え」

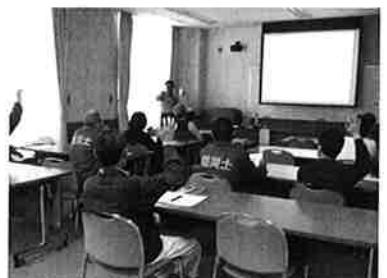
講 師：特定非営利法人 日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)

常務理事 寺本 弘伸 氏

参加者：12名 延べ：23名



ブラインドサッカーの様子



災害ボランティア講座の様子



### 3) 啓発用冊子等の作成・配布

#### ① ボランティア啓発事業

「ゆうあい福祉の集い」の本年度テーマ「つながる・ひろがる！」に沿って、ボランティアグループそれぞれがパネル展示・体験コーナーを設置し、ボランティアへの関心を高める啓発活動を行う計画でしたが、台風 17 号の接近のため中止となりました。

パソコンボランティア「夢ネット」	パソコンを利用したオリジナルカード作り
手話サークル「うりんぼう」	手話体験・ダーツゲーム
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音体験
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験
手話サークル「マジック」	手話体験(震災に関する手話)
託児ボランティア「ぽんぽこ」	プラ板作り
要約筆記ボランティア「ゆきんこ」	字幕付DVD映画会「奇跡」
ふれあい弁当調理ボランティア「えぷろん」	ふれあい弁当の販売

## ② 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方や初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」を作成(1,000部発行)。また、ボランティア・福祉学習についての詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を作成(1,000部)しました。冊子は町内の学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用しての情報発信を実施しました。

## 4. 生活支援サービス活動

### 1) 寝具丸洗い・乾燥サービス事業

65歳以上の寝たきり高齢者や虚弱なひとり暮らしの高齢者などを対象に、健康と福祉向上を目的として、平成5年6月より実施(利用料金:1組1,000円)しています。

本年度は、7・12月と2回実施し、18件(昨年度39件)の利用がありました。事業実施から19年が経過し事業目的を果たしたと判断し、本年度末をもってこの事業を終了しました。

### 2) 福祉用具の貸出事業

平成5年度より、町内在宅で生活し介護を必要する方に、善意銀行等に寄付があった福祉用具(車イスや歩行器等)を基本6ヶ月以内無料(一部物品搬出料の負担あり)で貸出を実施しています。昨年度と比較して貸出数が増加しました。

貸出器具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
24年度	82	4	25	9	39	159
23年度	80	4	19	7	21	131

## 5. 児童・家庭福祉活動(エンゼル活動)

親子が集う場として保育所や児童館等を利用し、親子が集える場所「あそびのひろば げんき! ゲンキ!」を提供し、子育てに関する相談・情報提供を行うことにより地域全体で子育てを支える仕組みづくりを推進することを目的としています。

地域に子育て支援の施設等が増加していることもあり、この事業は今年度末に終了しますが、引き続き地域の団体等と連携をとり、必要に応じて情報提供等を行なっていきます。

手作りおもちゃ作りのボランティアグループにより作成されたおもちゃは、子育てひろば等で活用するとともに子育て自主グループなどへの貸出しを行いました。(貸出し件数 35件)



「あそびのひろば」の様子



ボランティアによる手作りおもちゃ

## 6. 障がい者（児）福祉活動

### 1) ふれあい交流活動

#### ① ふれあいバスツアーの開催

障がいのある方とその家族、ボランティア等が共に外出し、一日を楽しむ中で仲間作りや生きがいの場となり、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることの一助となることを目的に実施しました。（本事業は、善意銀行の指定払い出しにより実施しています。）

開催日：平成 24 年 8 月 26 日（日）

場 所：京都 嵐山トロッコ列車 京都水族館

参加者：42 名

#### ② 障がい者ふれあい運動会の開催

障がいのある方とその家族、ボランティア等が共にスポーツ・レクリエーションを楽しむ中で仲間・生きがい作りとして、「障がい」という壁を乗り越え、お互いの理解を深めあい、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることの一助となることを目的に、当事者・民生委員児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・身体障害者福祉会・手をつなぐ育成会・猪名川園・猪名川体操協会・どんこうサークル・福祉課などの協力を得て開催しました。

開催日：平成 24 年 10 月 20 日（土）

場 所：総合福祉センター コミュニティドーム

参加者：100 名

内 容：①元気にダンス！ダンス！

②伝統の一戦！

③魚つりゲーム

④応援合戦＆マルモリダンス！

⑤借り物でパン GET！

⑥ラバーレーンで大空へ

⑦おしるこ交流会



「借り物でパンGET」競技中の様子

### 2) 地域啓発活動事業

障害者週間及び障害者の日における啓発活動

町国際交流協会と協働で、障がい者の国際交流の一環として姉妹都市であるオーストラリアのバララット市と絵画作品の交換事業を実施、両市町の作品を展示しました。

町内の住民や各障がい者団体、NPO 法人 Co.to.hana と協働で、プロジェクトを起ち上げ、作品づくりを通して地域の方々との触れあい、仲間作りを目的にした地域交流活動を開催しました。

#### ・啓発・広報活動 いながわ エイブルアート 2012（障がい者作品展）

開催日	開催名	開催場所
7/27~8/7	国際交流エイブルアート展	生涯学習センター（中央公民館） 1階エントランス
12/4~12/11	エイブルアート展	生涯学習センター（中央公民館） 1階エントランス
3/16	イナワイ（地域交流活動）	イオンモール猪名川 3F フードコート前特設会場

・イナワイ（地域交流活動）

3年間かけて、住民の方と大きなアートをつくる取組みです。1年目となる今年度は、今後の障がい者の啓発活動等における核となる仲間づくりを目的に企画しました。イベントで一人ひとりが自由に描いたイラストを組み合わせ、一つのアートを完成させました。

開催日時：平成25年3月16日（土）

場所：猪名川イオン 3F フードコート前特設広場

内容：作品づくりを通しての交流



イベント時の参加者との交流風景

### 3) 地域生活支援活動

#### ① 障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

本年度4月に障害者自立支援法の報酬改定があったことに加え、利用者数が増えたため増収となりました。また、新たにボランティアの方に活動していただくことで、利用者への支援の幅を広げることに取組みました。

#### ・就労移行支援事業

就労を希望する障がい者が、生産活動、職場実習、ビジネスマナー学習、接客販売訓練等を通じて就労に必要な知識及び能力向上のための訓練、求職活動における支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着のための支援を行いました。

本年度は2名が一般企業へ就職しました。



職業基礎訓練の様子

#### ◆就労移行支援事業の利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	20	244日
	延利用者数	75	83	101	103	73	54	64	75	71	71	75	852名
	登録者数	4	4	5	5	5	3	3	4	4	4	4	平均4名
23 年 度	開所日数	20	19	22	20	23	19	20	20	19	19	21	243日
	延利用者数	81	80	114	98	106	88	95	96	90	103	119	1,188名
	登録者数	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	平均6.2名

#### ・就労継続支援B型事業

通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識・能力が高まった方に対し、一般就労等への移行に向けて支援する事業です。

本年度は、一般就労や就労移行への希望者はなく、主に作業や個別作業訓練を通して、作業技術の能力アップや自立に必要な生活の技術習得（公共交通機



高齢者デイ喫茶での様子

関の利用体験、金銭感覚・金銭管理等)を目指しました。

また、地域で開催されるイベントでの販売や福祉課からの業務委託(封入作業等)に取り組み、新たな作業としてタオル折りにも挑戦しました。

#### ◆就労継続支援B型事業の利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	245日
	延利用者数	254	251	263	264	301	254	301	265	237	241	233	233	3,097名
	実利用者数	13	13	13	13	14	14	14	14	13	13	13	13	160名
23 年 度	開所日数	20	19	22	20	23	19	20	20	19	19	21	21	243日
	延利用者数	218	183	212	192	222	181	195	192	187	185	202	191	2,360名
	実利用者数	12	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	123名

#### ◆就労継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24 年 度	工賃支給額	102,500	77,700	66,400	110,600	87,000	85,100	91,300	105,900	98,700	82,900	83,500	172,000	1,163,600
	平均個人支給額	7,884	5,976	5,107	8,507	6,450	6,078	6,628	7,564	7,592	6,376	6,423	13,231	7,459
23 年 度	工賃支給額	130,400	124,3000	99,900	106,000	117,200	129,800	104,400	99,000	106,300	103,800	113,600	130,700	1,365,400
	平均個人支給額	10,866	11,300	9,990	10,600	11,720	12,980	10,440	9,900	10,630	10,380	11,360	10,380	11,100

#### ・生活介護事業

自立した日常生活または社会生活を営むことができるようになることを目的に、日中活動・身体機能の維持向上・日常生活上必要な生活等の支援を提供する事業です。

昨年度に引き続き、ボランティアの方にもプログラムへ参加して頂き、地域住民との交流も行いました。

また、利用者が主体となって会議を開催し町内外出や調理活動にも取り組みました。



町内外出時の様子

#### ◆生活介護事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24 年 度	開所日数	20	21	21	21	23	19	22	21	19	19	21	21	243日
	延利用者数	198	214	204	204	210	184	203	201	191	160	184	194	2,347名
	登録者数	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12名
23 年 度	開所日数	20	19	22	20	23	19	20	20	19	19	21	21	243日
	延利用者数	169	164	203	183	200	172	166	164	161	161	182	188	2,113名
	登録者数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11名

## ② 障害者日中一時支援事業

在宅の障がい者の家族において、その介護を行う方の疾病その他の理由により、一時的に支援を必要とする障がい者に施設支援サービスを提供することにより、障がい者及び家族の福祉の向上を図ることを目的とし、平成17年4月より実施しています。猪名川町居宅生活支援事業、日中一時支援事業の指定を受け実施しました。

### ◆障害者日中一時支援利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24 年度	実利用者数	10	5	6	9	9	7	7	5	6	4	4	7	79名
	利用延人数	39	28	20	22	38	22	24	16	20	9	12	17	267名
23 年度	実利用者数	8	6	9	10	9	7	4	5	4	6	3	11	82名
	利用延人数	29	18	23	36	42	20	18	20	24	21	10	39	300名

## ③ 障害者地域生活支援事業 移動支援事業

平成18年10月の障害者自立支援法の施行により、市町村の判断で地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟に実施できるようになりました。利用者一人ひとりの目的に沿った活動のもと、将来に役立つ取り組み、社会性の向上を図ることを目的として実施しました。

### ◆移動支援事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24 年度	延利用者数	3	3	2	6	6	3	4	3	3	4	3	4	44名
	延利用時間	19	20.5	11	31	29	17.5	24.5	25	15.5	17.5	12.5	33.5	269時間
23 年度	延利用者数	5	2	3	4	4	3	5	5	4	2	4	6	47名
	延利用時間	20.5	6.5	16	16.5	44	13.5	23	35.5	21	12	35	27	270.5時間

## ④ 地域活動支援センター

平成22年4月から実施されていた精神障がい者ふれあいサロン事業からかたちをかえ、本年度からは、町委託事業の地域活動支援センターとして受託し、引き続き精神障がい者の支援に取り組みました。町内在住の障がい(精神疾患)のある方を対象に身近な地域での居場所づくり及び社会参加への促進等を図る一助となることを目的に、月曜日から金曜日の午前10時~16時まで、総合福祉センター(2階)において実施しました。

### ◆地域活動支援センター事業利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24 年度	開所日数	8	20	21	21	23	19	22	21	19	19	19	20	232日
	延利用者数	10	31	42	29	33	65	55	51	49	61	70	71	567名
	利用登録者数	0	3	2	0	2	4	0	1	0	1	1	0	14名

## ⑤ 居宅介護等事業（障害者ホームヘルパー事業）

障がい（身体・知的・精神障がい）があるため、日常生活を営むのに支障がある障がい者の自宅にホームヘルパーが訪問し、身体の介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談、外出時の付き添い）などのサービスを実施しました。本年度は、家事援助サービスを中心とした利用や、単価の高い身体介護で訪問回数の多かった利用者の支援終了（介護保険への移行）などがあり、昨年度より実績額は大幅に減少しました。この事業は、収益を上げることを目的とした事業運営ではなく、相談業務や障害者センターと連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援や他の事業所では対応困難な事例などを率先して受け入れるように努めました。

### ◆障害者ホームヘルパー利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年 度	利用実人員	3	3	3	3	3	3	4	5	5	5	5	45	1,269 千円	
	延べ利用件数	21	24	24	20	25	21	23	30	37	39	41	336		
23 年 度	利用実人員	5	3	3	3	3	4	4	5	4	5	5	49	2,466 千円	
	延べ利用件数	96	57	47	55	50	107	76	92	75	103	79	41	878	

※ 障害者地域生活支援事業（移動支援事業）の実績を含まない。

## ⑥ 障害者地域生活支援事業 相談支援事業

平成18年10月の障害者自立支援法の施行により、障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託しています。障がいのある方やその家族が安心して暮らしていくよう支援を実施しました。本年度は、障がい児の相談を受けるようになり、サービス利用に関する支援、不安の解消・情緒安定に関する支援、就労の職場定着のための支援が増加しました。

### ◆障がい種別相談等延べ件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24 年 度	身体	14	12	18	24	11	15	13	25	17	24	10	22	205
	知的	35	30	34	32	18	27	22	26	33	32	16	21	326
	精神	83	85	86	66	73	54	50	58	54	52	30	53	744
	重症心身	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発達	5	5	7	6	6	4	18	7	6	12	30	24	130
	その他	12	18	8	8	13	6	3	10	1	11	18	22	130
件数		149	150	155	136	121	106	106	126	111	131	104	142	1,537
23 年 度	身体	12	24	33	13	18	17	27	19	33	24	25	23	268
	知的	51	31	37	42	30	27	37	40	54	41	39	54	483
	精神	56	62	58	48	71	72	84	66	83	99	99	89	887
	重症心身	1	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	9
	発達	7	5	6	2	5	2	1	1	1	2	7	4	43
	その他	19	29	23	8	5	5	4	10	2	2	5	13	125
件数		146	155	159	114	129	124	153	136	173	168	175	183	1,815

### ⑦ 声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がい者のために、音訳・点字訳等により町広報・社協だより等を定期的に編集・発行しています。音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」のボランティアの協力を得ました。

本年度は、福祉課の協力を得て町内の視覚障がいの方に、チラシを案内し事業のPRに努めました。また広報「いながわ」が平成25年度1月号より月1回の発行となり、それに合わせて、それまでテープに録音からCDへのデジタル化を行いました。

なお、本年度の利用者は延べ2名です。(昨年度は1名)

### ⑧ リハビリ教室事業

町からの委託事業として、肢体機能の低下などにより医療機能訓練終了後も継続して機能訓練が必要な児童・生徒に対して、肢体の機能維持を図るために必要な訓練を指導・実施し、日常生活の自立を助ける事を目的に実施しました。

本年度は利用者の卒業に伴い登録人数が減り、それが延べ利用者数の減少に影響しています。理学療法が主のこの事業は、本年度で終了しました。

#### ◆リハビリ教室開催・利用者等延べ件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24 年 度	開催回数	2	3	4	3	4	3	4	3	4	4	4	3	41
	登録人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	延べ利用 人数	5	7	6	5	6	4	6	5	6	7	7	6	70
23 年 度	開催回数	3	2	4	3	4	4	3	3	3	2	5	3	39
	登録人数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	延べ利用 人数	10	5	9	9	10	9	6	7	8	6	11	9	99

## 7. 高齢者福祉活動

### 1) 介護保険事業

#### ① 訪問介護事業（ホームヘルパー）

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護及び掃除や洗濯、調理等の生活援助を行いました。

本年度は、臨時職員を増員し、新規利用者の積極的な受け入れを行うことで增收となりまた、ターミナルケア(終末期介護)や介護拒否が強い利用者などの困難ケースについても、職員間で研修や情報伝達の徹底などをを行い対応しました。今後も柔軟な対応が行える体制つくりを維持していきます。

#### ◆訪問介護事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年 度	実人員利用	63	64	64	61	64	61	64	63	62	61	57	59	743	20,632 千円
	延べ利用件数	511	604	522	563	573	500	585	582	506	481	467	544	6,438	
23 年 度	利用実人員	47	47	48	48	55	55	55	57	57	58	57	54	638	18,111 千円
	延べ利用件数	383	408	438	434	477	488	463	492	480	440	409	424	5,336	

## ② 通所介護事業（高齢者デイサービス）

在宅支援の一つで入浴や食事の支援を日帰りで提供しています。本年度は利用者の体調不良・長期入院などの欠席やショートステイを利用される方が多く、昨年度に比べて利用件数が減少したものの、介護報酬改正により増収となりました。

### ◆通所介護事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年度	利用実人員	107	102	101	99	97	97	101	97	97	89	93	96	1,174	73,647 千円
	延べ利用件数	741	801	767	740	756	737	789	745	690	623	647	696	8,734	
23 年度	利用実人員	102	98	101	101	99	102	106	103	104	100	102	101	1,219	68,084 千円
	延べ利用件数	767	783	761	768	773	740	801	795	731	706	750	772	9,147	

## ③ 認知症対応型共同生活介護事業（グレープホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事などの支援及び機能訓練を提供しました。

本年度は、利用者の重症化等の理由により、例年なく退所者（3名）が続出し、かつ利用者の長期入院（2回）などが重なり、空床が発生したことにより減収となりました。

なお平成25年3月31日現在で要介護2の方が4名、要介護5の方が1名の計5名が利用されています。

### ◆認知症対応型共同生活介護事業利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年度	利用実人員	5	4	6	5	6	6	6	5	5	5	4	63	22,203 千円	
	延べ利用件数	125	124	138	155	186	180	182	172	155	155	140	124	1,836	
23 年度	利用実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	25,347 千円	
	延べ利用件数	180	186	180	186	186	152	186	180	185	186	174	172	2,153	

## ④ 居宅介護支援事業

介護サービスの利用にあたって、ケアマネジャー（介護支援専門員）が利用者の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護を必要とする方やその家族の相談に応じています。本年度より24時間相談できる窓口（電話）を開設し、また、主任ケアマネジャーを配置することでより専門的な相談が可能となり、安心した在宅生活を支援しました。これらの体制強化により特定事業所加算Ⅱの算定が可能となり居宅介護費の増収となりました。

### ◆居宅介護支援事業利用実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年度	利用実人員	121	120	122	125	121	125	127	126	121	115	114	115	1,452	19,089 千円
	利用実人員	100	101	108	110	109	111	113	115	115	115	114	111	1,322	
23 年度	利用実人員	121	120	122	125	121	125	127	126	121	115	114	115	1,452	19,089 千円
	利用実人員	100	101	108	110	109	111	113	115	115	115	114	111	1,322	

## 2) 介護予防・生活支援事業（町受託）

### 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心した生活がおくれるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。

本年度は毎日型や時間外、長時間の利用などをされていた利用者の入所や入院が多く重なり、新規の利用希望も少なかった為、大幅な減収となりました。定期的にケアマネ連絡会議などを通じて事業の周知、情報発信に努めています。

#### ◆軽度生活援助事業利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
24 年 度	利用 実人員	23	22	25	18	18	19	23	19	21	12	14	12	226	1,761 千円
	延べ利用件数	114	124	103	72	78	100	115	108	86	47	44	40	1,031	
23 年 度	利用 実人員	25	28	27	24	23	22	27	23	28	21	21	22	291	2,282 千円
	延べ利用件数	128	121	127	132	142	143	143	149	135	103	103	117	1,543	

## 3) 地域支援事業

### ① 高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。

栄養・食事指導の件数について、個別の新規依頼は減ったものの継続支援を行う利用者の意識と行動変容が見られました。また集団に対しては、従来の生活習慣病予防や脱水予防、食品衛生に加えて、ここ最近関心の高い認知症予防や免疫力向上の講習会依頼もあり、健康講座や料理教室の実施回数が増え、延べ件数は240件、626名となりました。

### ② 地域支援事業（二次予防事業）

#### ・認知症・閉じこもり・うつ予防教室「笑話くらぶ」

認知症や閉じこもり、うつになるおそれのある二次予防対象高齢者に、ゲームや脳トレクイズなどのレクリエーションや、近隣での外出するプログラムなど、他者交流を含め、楽しく過ごし認知症や閉じこもり、うつなどを予防することを目的とした教室です。

本年度は6月から通年で全10回（参加者は1クール6回参加）実施し、参加人数は、15名、延べ67名でした。

#### ・運動器機能向上教室「元気アップ教室」

運動器機能低下のおそれのある二次予防対象高齢者に、自宅で実施できる運動を楽しみながら行う教室です。本年度は5月から全43回（参加者は1クール全12回）実施し、参加実人数は31名、延べ359名でした。

これらの教室は、学習したことを自宅にて継続して実施できるような意識付けを目標としていますが、教室が終了すると参加する場がなくなり、生活機能が低下してしまう方もあるため、終了後に次のステップとなる場を提供できるよう受け皿を作っていくことが今後の課題です。また、より効果的な予防につながるよう内容の充実を図ることや、参加に至っていない二次予防対象者への働きかけが今後、重要となります。

### ③ 地域包括支援センターの運営

町の委託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、さまざまな支援を行う事業で、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。

本年度も、複合的な課題を抱える困難ケースの相談や民生委員児童委員やサービス事業者、病院のソーシャルワーカーからの相談が増えるなど、多岐に渡る機関との連携内容が徐々に増えています。また、困難なケースについては町との連携を図りながら支援を行っていくことが重要となります。

なお、総合相談（介護予防プラン作成を行わない相談）件数は、延べ 899 件、相談実人数 621 名でした。また介護予防プランの作成は平成 25 年 3 月時点で 285 件となりました（平成 24 年 3 月時点では 250 件）。他に老人会等からの依頼を受けて、高齢者福祉や介護予防をテーマに出前講座も行いました。

#### ◆出前講座テーマ・件数及び参加人数

日	テーマ	対象・参加人数等
1 4/20	介護保険のしくみと現状	全日本年金者組合猪名川支部 16 名
2 5/ 1	目指そう健康長寿！	西畠老人会 19 名
3 5/23	認知症予防（脳トレ体操）	老人大学 約 150 名
4 6/ 5	地域包括支援センターの紹介、認知症の徘徊者の現状・対応、事業所一覧説明	民協定例会 59 名
5 7/1	「免疫力を高める食事」+血圧測定	西畠老人会 14 名
6 7/ 7	元気な暮らしは、毎日の介護予防から。脳トレ体操	杉生老人クラブ会員及び住民 32 名
7 7/12	脳トレ	銀山老人会 8 名
8 7/21	生活習慣病予防の食事+脳トレ体操	松尾台老人会 19 名
9 9/11	口腔ケアの話、脳トレ体操	白金プラチナクラブさわやか会 17 名
10 9/20	高血圧予防（改善）の食事 + 血圧測定	西畠老人会 17 名
11 9/23	車イス体験講座 車イスの操作方法	旭ヶ丘コスモスクラブ 26 名
12 10/3	口腔ケアの話、脳トレ体操	杉生老人クラブ会員及び住民 25 名
13 10/10	認知症を予防しよう！ 脳トレ体操	広根老人会 36 名
14 10/13	認知症を予防しよう！ 認知症とは、脳トレ体操	若葉いこいの家 26 名
15 11/17	認知症を予防しよう！	原・松尾台地区福祉委員会主催 ふれあいひろば 24 名
16 1/ 7	脳トレ、スローイングbingo	杉生老人クラブ会員及び住民 15 名
17 1/ 8	転ばないからだづくり、脳トレ体操	白金プラチナクラブさわやか会 16 名
18 1/20	知っておこう！介護保険	旭ヶ丘コスモスクラブ 28 名
19 1/25	認知症予防についての食事 + 血圧測定	西畠老人会 16 名
20 1/27	①悩んでいませんか？尿のトラブル ②転ばないからだづくり	白金小学校区福祉委員会主催 福祉ふれあい講座 13 名
21 3/15	脳トレ	若葉熟年クラブ 50 名
22 3/23	地域包括支援センターの役割について	白金地区民生委員会 14 名
23 3/24	脳トレ体操	杉生老人会総会 70 名

#### ④ 家族介護支援事業

##### ・家族介護教室

開催日：平成 25 年 3 月 23 日(土)  
場 所：総合福祉センター 研修室

参加者：19 名

内 容：「成年後見のいろは」

講 師：コスモス成年後見サポートセンター 行政書士 鳥越 俊彦 氏

##### ・認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修を受けた方）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その人の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担の軽減を図ることを目的とします。

ケアマネジャーにも紹介しながら、利用者の増加に努めていますが、支援内容が限定的であるため介護者等との要望に十分に対応することが困難な場合や、介護保険サービスの利用が中心となることもあります。実績を伸ばすことが難しく前年度より利用者数が減少しています。

本年度の利用者は 2 名、利用延べ時間 36 時間です。

(昨年度 利用者 6 名 利用延べ時間 361. 5 時間)

##### ・認知症サポーター養成講座

平成 17 年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター 100 万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成 20 年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によって作っていくことを目指す、全国的な取組みです。

#### ◆認知症養成講座開催数及び参加人数

	開催回数	サポーター数
24 年度	8 回	211 名
23 年度	5 回	99 名
22 年度	4 回	73 名
21 年度	10 回	540 名
20 年度	4 回	128 名



グループ討議の様子



認知症声かけ訓練の様子

## ⑤ 地域ふれあい事業

### ・「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らせ、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成16年度より実施しています。

本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

### ・高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グランウドゴルフ大会」（平成24年10月30日実施）に運営助成しました。なお、助成は、共同募金地域配分金を財源としています。

## 8. 福祉教育活動

### 1) 福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。

昭和59年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として指定しています。今年度も、町内全ての小学校7校と中学校3校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組みました。

### 2) 福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催日	教室名	内容	講師	対象者
阿古谷 小学校	10月3日	点字学習	点字の体験と話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4・5年生 14名
	10月25日	福祉講演会	パラリンピックメダリストによる話とブラインドサッカーの体験	パラリンピック 陸上選手 齋藤 晃司 氏	全校生徒 45名
猪名川 小学校	9月26日	点字学習	点字の体験と話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生 42名
	10月12日 10月19日	障がいの方 との交流	希望の家「すばる」の利用者との交流		6年生 41名
	11月12日	福祉講演会	パラリンピックメダリストによる話 「挑戦する気持ちを大切に」	パラリンピック 水泳選手 加藤 作子氏	全校生徒 248名
白金 小学校	9月27日	聴覚障害学習	聴覚障がい者の話	手話サークル 「うりんぼう」	4年生 103名
	11月7日	点字学習	点字の体験と話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生 98名

学校名	開催日	教室名	内容	講師	対象者
つつじが丘小学校	10月2日	福祉講演会	パラリンピックメダリストによる話とブラインドサッカーの体験	パラリンピック 陸上選手 齋藤 晃司 氏	全校生徒 791名
楊津小学校	11月13日	福祉施設見学	総合福祉センターの見学	社会福祉協議会 職員	4年生 9名
	11月20日	高齢者疑似体験教室	高齢者疑似体験グッズを使っての体験	社会福祉協議会 職員	4年生 9名
	11月28日	点字学習	点字の体験と話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生 9名
	11月30日	高齢者との交流	グループホームゆうあいの利用者との交流	社会福祉協議会 職員	4年生 9名
	1月23日	福祉講演会	パラリンピックメダリストによる話とブラインドサッカーの体験	パラリンピック 陸上選手 齋藤 晃司 氏	4~6年生

### 3) 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり中学生の様々な体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

#### ◆トライやる・ウィーク受け入れ状況

受入期間	学校名	受入人数
6月4日~6月8日	中谷中学校	2名
	六瀬中学校	2名
5月21日~5月25日	猪名川中学校	6名

## 9. 広報・啓発活動

### 1) 広報紙等の発行

機関紙である『社協だより』を6月、9月、1月、3月の年4回(1回10,500部)、リーフレット『社協はこんな活動をしています』を年1回(10,500部)発行し、全世帯に配布しました。

また、『ひょうごの福祉』を関係機関に配布すると共に、『ふれあい伝言板』(役場、図書館、六瀬住民センター、日生連絡所に設置)に福祉情報を掲示し、社協活動のPRに努めました。

## 2) 第2回「ゆうあい福祉の集い」開催への取組み

※平成24年9月30日開催予定の第2回ゆうあい福祉の集いは、台風17号による悪天候のため中止となりましたが、開催にむけて下記の取組みを行いました。 ↓写真パネル展の様子

### ① 石巻日日新聞手書きの壁新聞・写真パネル展 開催

開催日：平成24年10月1日（月）～10月11日（木）

場 所：総合福祉センター1F図書コーナー

内 容：改めて震災について考える機会として石巻日日新聞より貸出を受けた手書きの壁新聞7枚と震災直後の被災地写真のパネル展を開催し、約300名の方からシンサイミライノハナに、被災地の方へのメッセージや感じたことを記入していただき、震災について考えていただくきっかけをつくりました。



### ② イザ！カエルキャラバン！事前研修会 開催

開催時：平成24年9月15日（土）

場 所：総合福祉センター研修室

参 加：22名

内 容：第2回ゆうあい福祉の集いで実施するためイザ！カエルキャラバン！のボランティアスタッフの事前講習会をNPO法人プラス・アーツ主催により開催しました。災害ボランティアバス・サマーボランティアスクール参加者、各種団体、各小学校区まちづくり協議会の方々が参加しました。



イザ！カエルキャラバンの打ち合わせ

## 10. 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金B種配分金が主です。しかし、少子・高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。

そこで、安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えるとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

### 1) 社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和63年から実施し、本会会員には、平成9年度から「会員之証」を発行しています。本年度は、自治会の方々を中心にご支援を頂き、昨年度と比較し増額となりました。

#### ◆会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	24年度		23年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,826,112	49自治会	2,746,870	49自治会
賛助会員	5,000	305,000	60事業所	320,000	64事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		3,141,112		3,076,870	

## 2) 赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として、共同募金運動を推進しています。本年度は、自治会・民生委員児童委員・福祉委員・学校・法人などご協力いただきましたが、昨年度に比べ減額となりました。

### ◆共同募金実績

目標額	実績額	達成率
2,271,000円	2,265,508円	99.76%

### ◆募金別実績額

(単位:円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,465,507	職域募金	275,500
街頭募金	46,115	学校募金	163,016
法人募金	307,000	その他(募金箱)	8,370
合計		2,265,508	

### ◆社協会費と共同募金の推移

(単位:円)

科目/年度	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
社協会費	3,465,842	3,473,930	3,380,251	3,076,870	3,141,112
共同募金	2,389,229	2,343,211	2,334,907	2,348,513	2,265,508

### ◆共同募金B種配分金の推移

昨年度共同募金実績に対して翌年度に共募B種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

(単位:円)

科目/年度	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
共募B種配分金	2,039,900	1,918,000	1,873,000	1,883,000	1,848,000



### 3) 歳末たすけあい運動募金活動

#### ◆募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	愛の持ちより募金	662,161	
2	街頭募金	13,574	12/1, 12/2 日生中央駅前、イオン
3	募金箱	2,558	
4	預金利子	41	
5	前年度繰越金	238,870	
合計		917,204	

#### ◆配分内訳

(単位：円)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活保護世帯	0	5,000	0	今年度から対象外
2	生活困窮世帯	25,000	5,000	5	包括支援、相談支援等
3	準要保護世帯	635,000	5,000	127	教育委員会より
4	繰出金	60,000	0	0	共同募金事務費会計へ
5	予備費	197,204	0	0	
合計		917,204	15,000	132	

### 4) 善意銀行活動

地域の方々からの善意（金品や物品等）を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

#### ◆平成 24 年度 善意銀行預託払出状況表

口座種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金 銭	一般	238,696 円	22 件	一般	135,000 円	・摂丹地区里親会 ・療育募金協力 1 件 ・緊急払出し 2 件 ・災害見舞金 2 件
	指定	130,000 円		指定	108,740 円	・ふれあいバスツアー
	合 計	368,696 円		合 計	243,740 円	
物 品	福祉用具	6 件	・車イス 2 件 ・ポータブルトイレ 2 件 ・手押し車 2 件	福祉用具	5 件	町内福祉施設など 中心に払出し
	その他	15 件	・紙おむつ ・タオル ・オキシメーター ・ネプライザー ・電子ピアノ ・バージャマ ・ミニコンボ など	その他	13 件	町内福祉施設など 中心に払出し
	合 計	21 件		合 計	18 件	

## 1 1. 団体事務局の運営

本会では、本年度も次の福祉9団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 1) 老人クラブ連合会 | 6) 英霊にこたえる会              |
| 2) 老人大学     | 7) 身体障害者福祉会 (セルフヘルプグループ) |
| 3) 生甲斐相談会   | 8) 手をつなぐ育成会 ( " )        |
| 4) 遺族会      | 9) こころ猪名川家族会 ( " )       |
| 5) 傷痍軍人会    |                          |

## 1 2. 総合福祉センター管理受託事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。

また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなります。

◆総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

協 質 名	実施時期・ 実施回数	参加者数
初級水泳教室	6月～7月 8回	5名
ハツラツ体操教室	6月～9月 8回	16名
やさしいヨガ教室	6月～7月 6回	8名
色えんぴつ画教室	6月～7月 6回	12名
健康カラオケ教室	6月～8月 5回	15名
水中体操教室	1月～3月 8回	7名
さわやか健康体操教室	12月～3月 8回	21名
料理教室 ‘きほんのき’	12月～3月 4回	9名
俳句教室	12月～3月 6回	9名
フラワーアレンジメント教室	12月～3月 6回	2名
計	65回	104名

◆総合福祉センター施設の利用状況一覧表

24 年 度	一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム	障害者談話室	作業室
	件数		407件	222件	1,026件	9件	155件
	人数	47,476名	5,149名	4,610名	2,145名	9,523名	1,126名
23 年 度	一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム	障害者談話室	作業室
	件数		371件	211件	1,040件	165件	178件
	人数	46,278名	5,408名	4,810名	3,678名	9,834名	1,578名

◆総合福祉センターの施設修繕一覧表

実施時期	修 繕 工 事 内 容	金 額 (円)
5月	ドーム入口鍵交換工事 ドーム裏倉庫鍵交換工事 障害者センター照明修理	100,695
6月	福祉センター2階研修室照明調整工事 福祉センター1階廊下照明安定器交換工事 ドーム照明スイッチ調整工事	241,290
7月	福祉センター1階プール更衣室扉修理	5,250
9月	ドーム照明安定器交換工事 ドーム表面水分量低下作業	131,250
11月	グループホーム寮母室系統室内機修繕	157,500
1月	地下給湯主配管漏水緊急補修工事 地下1階手洗天井部漏水補修工事(給湯配管)	36,750
2月	プール手洗扉鍵交換修理 地下1階機械室換気扇修理 雨漏り調査修理	147,934
3月	泡風呂ジェットポンプ取替工事 エレベーターマット取替工事 給湯配管漏水補修工事	425,250
計		1,245,919

## 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

### ◎理事 (定員 11 名) (任期 平成 24 年 6 月 11 日～平成 26 年 6 月 10 日) ※順不同

会長 鍋谷 将  
副会長 桑江 朝武  
理事 矢藤 義宏  
〃 中村 多一  
〃 奥西 早苗  
〃 亀川 公昭  
〃 中田 隆男  
〃 北上 倫聖  
〃 井ノ末 利幸  
〃 喜多 護  
常務理事 小北 弘明

### ◎監事 (定員 2 名) (任期 平成 24 年 6 月 11 日から平成 26 年 6 月 10 日)

監事 家門 正幸  
監事 安武 雅子

### ◎評議員 (定員 23 名) (任期 平成 24 年 5 月 1 日～平成 26 年 4 月 30 日) ※順不同

評議員 佐々木 敬二	評議員 河邊 義人
仲 秀雄	高岡 美津子
村山 興治	粟井 真司
堀口 初恵	平井 邦子
田中 幸子	広瀬 隆
山 尚代	栗岡 輝幸
今泉 友幸	福井 和夫
荒井 康子	武内 佳代子
太田 はるよ	杉村 正己
田畠 幸造	関口 捷子
大下 章	
荒瀬 範彦	
仲井 常雄	



